

10. 政務活動報告書

議員名又はグループ名 とちぎ・織姫の会 大谷弥生

項目	活動内容・成果等
【調査研究】 1.学校図書館と学校司書について、及び、学校図書館と公立図書館との連携について	<p>1, 県内調査：所管課より 学校教育課と生涯学習課より、栃木県立高等学校の学校図書館と学校司書の現状について聞き取りをした。 栃木県立図書館より、栃木県立図書館と学校図書館との連携について聞き取りをした。</p> <p>県内現地調査：栃木県立足利高等学校、足利市立第一中学校、山辺小学校、菫鹿小学校の校長並びに学校司書や司書教諭などから現状について聞き取りをした。</p> <p>2, 県外調査 茨城県立水戸第二高等学校・水戸工業高等学校、水戸市立三ノ丸小学校・水戸第二中学校、東海村立中丸小学校・東海中学校、東海村立図書館の校長や司書教諭、学校司書・図書館長などから現状について聞き取りをした。</p> <p>3, 調査結果</p> <p>(1)栃木県内における学校図書館についての認識が遅れており、探究学習にも影響が出ていると感じた。</p> <p>(2)探究学習は、大学受験にも影響することから、探究学習の充実を図るためにも、学校図書館の機能充実は欠かせないものと感じた。</p>

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
<1. 続き>	<p>(3)探究学習を行うためにも、読書センターとしての機能も不十分であるが、学習センターとしての機能を充実させ、さらには、情報センターとしての機能も持たせなければならない。</p> <p>(4)学校図書館の3つの機能についての認識が薄く、県立高等学校全校に配置されている司書教諭や学校司書のスキルアップのための研修会の必要性を感じた。また、学校司書と司書教諭の連携は欠かせないものであるため、一緒に学ぶ研修会の実施の必要性を感じた。</p> <p>(5)学校図書館の館長は、校長であることの意識も薄い。</p> <p>(6)教育委員会部局についても、学校図書館の機能について学ぶ必要を感じ、茨城県のような先進自治体を視察してほしいと感じた。</p> <p>(7)茨城県に比べ栃木県は、学校図書購入費の金額に雲泥の違いがあり、さらには、PTA会費に依存している状況を把握できた。このことは、改善の必要性を感じた。</p>

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
<1. 続き>	<p>4, 調査の成果</p> <p>調査結果をもとに、一般質問を行った結果、</p> <p>(1)栃木県立高校に対して、図書購入費が追加計上された。</p> <p>(2)新年度予算においては、学校図書館司書教諭講習費用が新規計上された。</p> <p>(3)学校図書館や学校司書についての質問は、県民の関心が高く、多くの方から質問したことのお礼の声が届いた。子供たちの読書活動推進のために活動している県民が多いことが分かった。</p>
2.その他	<p>そのほか、</p> <p>障害者の歯科診療について・社会教育についての調査を行った。社会教育については、令和6年度も調査を継続する。</p>